



例会:毎週水曜日 12:45~ 例会場:勇屋会館 事務所:安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F

RI テーマ

TEL:0263(73)2901 FAX:0263(72)3181 E-mail: [azumirc@poppy.ocn.ne.jp](mailto:azumirc@poppy.ocn.ne.jp)

会長 小穴 実 幹事 中村 忠

R.I 会長 ステファニーA・アーチック ガバナー 白鳥敬日瑚

中信第一グループガバナー補佐 柴田博康

クラブ標語



【掘り興そう地域の宝(人脈)を、育もう仲間の連帯を!】

《水と衛生月間》

## ★ 配布 ・幹事報告 No.28 ・第 9 回理事会報告

## ★ 会長挨拶

【小穴実会長】

皆さんこんにちは!

今朝は黄砂が凄かったですね。見通し距離で 10 キロ以下だったのでは無いでしょうか?いつもなら掘金の職場の窓から常念がクッキリ綺麗に見えるのですが、今朝は春霞どころか

五里霧中状態で全く見えませんでしたから、視界不良による欠航も含めさぞ松本空港の発着に影響が大きかろうと思ひFDAのホームページを見ましたが、本日の運行状態はほぼ正常とのことでした。霧もそうですが、安曇野市に限定的に集まるようです。

こんな日には外は歩けないという事で、本日は自宅からのオンライン例会参加でしたが、例会の後、次期プログラム委員会がありますので事務所に出席してきました。本日も赤羽会長エレクトよりRIの次期会長方針などの説明がありますのでよろしくお願いいたします。

いよいよバトンタッチの時期に入りました。

なお、事務局報酬引き上げについて、過日飯田会員を交えて検討会が開催されました。3~5%の値上げならば会費に響かないのではとの事でした。諸費用については田野会員が専門家なので判断をお願いしますとの事でした。

以上簡単ではありますが会長挨拶とし、この後次期 RI 並びに小林ガバナー年度の地区方針などの解説を赤羽会長エレクトよりお願いいたします。

本日もよろしくお願いいたします。



## ★ 幹事報告

【中村忠幹事】

別紙参照



## ◇出席報告

会員総数 18 名 出席免除会員数 1 名	
本日の出席率	前々回(3月5日修正出席率)
出席者: 8 名	欠席者: 9 名
欠席者: 9 名	メーキャップ: 3 名
出席率: 47%	出席率: 67%

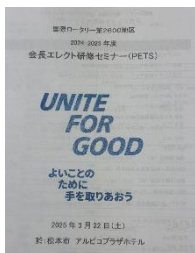
【下里 SAA 委員長】





## PETS 報告

### 【赤羽隆会長エレクト】



ロータリーは「地球上で最も有能なボランティアのチーム」  
成長、専心、つながりを大切に「よいことのために手を取りあおう」  
「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」。

成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップ  
単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能  
ポリオ根絶に向けた取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF（国連児童基金）などのパートナーと連携して行われてきた

入会への関心を高め、クラブを活性化させるために、さまざまな形でのパートナーシップを模索すべき。事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力。  
職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができる。

ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている。会員の入会促進と維持に力を入れることで、地域社会に変化を生み出し、ロータリーの強さと力が高まる

「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となる。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。……よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう」

## 私たちはロータリー

### ロータリーの優先事項

ビジョンの実現には戦略が必要であると私たちは知っています。ロータリー行動計画は、次の四つの優先事項を通じてビジョンの実現に向けた枠組みとなるものです。

より大きな  
インパクトを  
もたらす

実証されたデータに基づいてプロジェクトを定義、測定、分析することで、リソースを効果的に使用しながら、有意義かつ持続的な好ましい変化をもたらす。

参加者の  
基盤を広げる

奉仕と変革への情熱を分かちあう新たな参加者となつたり、ロータリーを体験する新しい方法を生み出す。

参加者の  
積極的な  
かわりを促す

ロータリーに入会し、かわり続ける理由を与えるために、つながりを築き、スキルを身につけ、地域社会に奉仕できる有意義な体験と機会を提供する。

適応力を  
高める

敏捷に対応し、地域社会、クラブ、会員の変わりゆくニーズに応えるために、革新的かつ新しい視点を取り入れる。

### 【ガバナーエレクトそして地区リーダー・クラブリーダーへ】

#### DREAM①

夢を諦めるな、諦めると夢が貴方を見捨てます。

#### CONNECT②

繋がりが大切です。

個々の人間が孤立した存在ではなく、広い社会や人類全体の一部としてつながっている。

ガバナー補佐のみならずには、地区とクラブとの絆を結ぶ大切な役割があり、クラブの公共イメージ向上を図りながら、会員増強・維持の援助を期待します。

#### PLAN③

行動計画の策定：ゴール（目的、目標）をしっかりと定めて、地区委員会委員とガバナー補佐と行動計画の期限を設定する。

#### ACT④

行動の意味：ガバナーの発した言葉ではなく、貴方自身のガバナーとしての行動があなたを語っていることを忘れないで欲しい。我々は行動人である。行動の伴わない言葉は、理想主義の暗殺である。（ハーバート・フーヴァー）

#### FAIL⑤

失敗の意味：失敗を続けるための勇気が必要である。

成功は終わりではなく、失敗は致命的ではありません。大切なのは続けることです。

### RECOGNIZE & APOLOGIZE⑥

#### 認識と謝罪：

・公益のために我々はロータリーを知ってもらうことが必要である。また過ちを犯したときは、人々に誤ったことを伝える勇気も必要である。

・他の人を褒めるときは人前で、間違いを正すときは本人だけに伝える必要があります。他の人の前での厳しい指摘・あやまちを指摘することなどが原因で、ロータリー活動を続ける意欲を失ってしまった人を何人も見てきました。面子を守ることは非常に重要です。

### TAKE RESPONSIBILITY⑦

#### 責任を取る：

成し遂げた2025-26年度の結果を受け止める責任感が大切であり、1年間成し遂げた結果の責任をガバナーは受け止めなければならない。

ロータリーが私たちに何の意味するにせよ、世界にとっては、それが成し遂げた成果によって知られることになるでしょう。

(Paul Harris in 1909)

### HAVE FUN⑧

#### 楽しんでやる：

楽しむことはやるべきことの1つである。

金銭を伴わない報酬とは楽しみである。決して自分のクラブの会員を利用してはならない。敬意と感謝を持って成し遂げる楽しみを共有する。

あなたには報酬は支払われませんが、あなたは他の機関では教えてくれないスキルを身につけ、価値ある経験を得ることができます。

### Q3:会長テーマについて

・会長テーマは設けない。年度ロゴやバッジも作らない。今までテーマを設けたことがロータリーを弱体化させたと考えるからである。テーマバッジやテーマロゴはロータリーの本質である「車輪」のマークの意味を忘れさせてしまう。ただし、会長メッセージは発表する。

・国際ロータリーの方針がクラブに伝わり、実行するまでに3年かかる。そのため、「ロータリー行動計画」は次年度もそのままで行う。

・年度ネクタイとスカーフは大切なロータリー財団の資源（1枚あたり150ドル）になるので、これについては継続する。

### Q4:会員増強について

ロータリーを今後とも維持するには、以下に尽きる。

1に会員増強、2に会員増強、3に会員増強である。

・会員増強はロータリー財団の維持にも関わっているし、これが成し遂げられなければ、ロータリーは衰退し、消滅してしまう。

### Q5:ポリオ根絶

・ポリオへの寄付の意味を一言で言うと、「あなた自身の健康には関係ない。あなたの子供もしくはその孫がポリオワクチンを接種していない1歳から5歳だった場合、感染者があなたの国に訪れたならば、その子供あるいは孫は感染し、生涯苦しまなければならない。そのことをあなたは我慢ができますか？」

・昨年度、ポリオ発症数は95件（実質はその数倍）と報告されている。WHO（世界保健機構）は、仮に今ポリオワクチンの投与を中断すると、飛行機を媒介としてあっという間に20万の症例が発生すると発表している。

### Q6:平和の構築について

Positive Peace（積極的な平和）という言葉がある。

平和は一人一人、一回一回作っていくものであり、その国の国民の健康維持や経済の安定が基礎となる。その目標達成は遠くとも一歩一歩進めていくしかない。





#### ■地区重点活動目標■

### 1. 居心地の良い元気なクラブをつくろう

- ① クラブ会長のリーダーシップを会員全員で支えよう
- ② 楽しい例会を企画し、会員の参加意識を高めよう
- ③ デジタルをうまく役立てよう
- ④ 行動計画と4つの優先事項を踏まえ、3年ビジョンを描こう

### 2. 新しい友人たちを温かく迎えよう

- ① ホスピタリティ豊かなオープン例会を開催しよう
- ② 従来型にこだわらず、新タイプのクラブで新しい友人たちを迎えよう  
(新タイプとは、衛星クラブ・オンラインクラブ・分野特化型クラブなど)
- ③ ベテランがメンター(相談者・助言者)となって新入会者を育てよう

### 3. 百の言葉より一つの行動を起こそう

- ① 世界平和と子供の命を守るために寄付活動を推進しよう  
(ポリオ根絶・RC財団への寄付等)
- ② 地域の課題を調べ、奉仕の輪を広げよう  
(グループ・近隣クラブとの連携)
- ③ 平和の懸け橋となる若者たちを育てよう  
(青少年への取り組み)

#### ■活動目標

#### 1. クラブへの支援

- ① マイロータリーの登録を促進し、ロータリー情報の入手とラーニングの活用で豊かなロータリーライフの実現を支援します。  
併せてジャパンロータリーポータルサイトの登録を支援します。
- ② クラブ会員の10%を地区委員会へ出向頂くことで、地区の委員会活動を充実させ、各クラブの未来を背負う人材の育成を支援します。
- ③ ローターアクトクラブの活動を支援します。
- ④ インターアクトクラブの活動を支援します。
- ⑤ 新しいタイプのクラブの発足を支援します。

### 2. 地区委員会とグループ活動

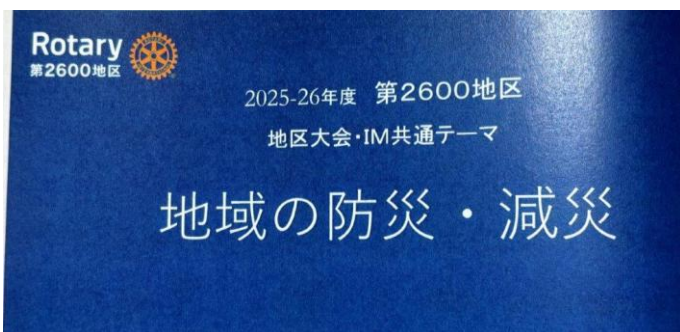
- ① DEI委員会を新設し、多様な会員の入会促進と退会防止活動を展開します。
- ② 大学でのローターアクトクラブ設立を支援します。
- ③ 入会3年目までの会員に「新入会員セミナー」を実施します。  
(昨年から継続)
- ④ ガバナー補佐と社会奉仕委員会に協力を仰ぎ、地域防災・減災についてロータリーでできることを提案します。  
(IM・地区大会)
- ⑤ 長野県との連携協定について検討を進めます。

#### 1. ロータリー財団への寄付

年次基金	1人 150ドル (0クラブを無くそう!)
ポリオプラス	1人 30ドル (0クラブを無くそう!)
平和センターへの寄付	1人 200円
恒久基金への寄付	1クラブ 1,000ドルと大口寄付者の獲得

#### 2. 米山記念奨学生への寄付

1人普通寄付金 3,000円と特別寄付金を合わせて20,000円以上を目指しましょう。



以下の地区目標につきましては、会報 No.1690 の本日のプログラム「会長エレクト・次期幹事研修報告」をご参照ください。よろしくお願いいたします。

#### 次期プログラム会議

オンライン例会後 事務所にて



参加者：・赤羽隆会長エレクト・三原雅次期幹事

・小穴実次期クラブ奉仕委員長・笠原明仁親睦活動委員長

・藤森康友次期プログラム委員長